

# 徹底して住民サイドに立つ市政へ！ 市議会へ！



津久井 清の 2020年7~8月号 118号

共育だより 立憲民主党

発行：津久井 清と共育の会

〒273-0136 鎌ヶ谷市佐津間 2-6  
津久井自宅 ☎ 047 (444) 5262 (FAX 兼用)  
e-mail : ktsukui@air.linkclub.or.jp

## 津久井 清のプロフィール

早稲田大学卒業後、(鎌)中部小、(鎌)四中・鎌中の社会科教師として21年間勤めました。市議としては、市民派議員として「教育充実を」「住民と共に住環境改善の戦い」などに力を入れています。これまでに議会報告「共育だより」を118号発行。議会終了後には市議会報告会を開き、市民とのツーウェイ（相互交流）を進めています。

6月市議会で津久井議員は、「海上自衛隊下総航空基地に関わる騒音、オスプレイ等の問題点について」の一般質問を行いました(6月19日質問日)。なお裏面では、自粛緩和が進む中で第2波の襲来が危惧されている「新型コロナウイルス対策」について取り上げました。 一読頂ければ幸いです。

### (1) 市民の声……

「下総航空基地からの航空機騒音が高くうるさい。特に国の環境基準(住宅地57デシベル以下)を超えている地区もあり、改善してほしい……」(市民相談より)

### (2) 4市合同で「改善要望書」を下総基地側に提出

鎌ヶ谷市は、白井市・柏市・船橋市と共に、4市長連名で「要望書」を下総航空基地司令に提出しています。要旨は、「航空機騒音の低減を」「土日祝・早朝夜間の訓練飛行および市街地上空での訓練飛行を避けること」等です。下総航空基地側からは『航空機騒音の低減、情報公開に引き続き努めていきます』との回答がありました。

### (3) 市は小中学校卒業・入学式への配慮も要請

鎌ヶ谷市は毎年度、小中学校の卒業・入学式の日程が決まったら下総航空基地側にそれを示し、当日の航空機騒音の低減に特に配慮して貰うよう、文書で要請しています。

### (4) 市は今後も要望していきます。

津久井市議質問…「私の地元中学校の卒業式で、厳粛な雰囲気の中での呼名が航空機騒音のため聞こえず、皆で上を見上げました。実際に配慮してくれているのでしょうか？」

市当局答弁…「市が下総航空基地側に確認したところ、『遠方訓練からの帰着時に上空通過飛行がありました』とのこと、今後も下総航空基地側に配慮を要望してまいります」

### (5) オスプレイの下総基地への配備情報は？

津久井議員質問…「本年2月に垂直離着陸機オスプレイの木更津駐屯地暫定配備が決まり、大きな問題になっています。下総航空基地への配備の情報はありますか？」

市当局答弁…「4市合同の要望申し入れの中で基地側に本件を質問したところ『下総航空基地は海上自衛隊の基地



でありオスプレイの運用予定は全くありません。飛来に関する情報もありません』とのことでした」。

### (6) オスプレイは”未亡人製造機”

津久井議員質問…「オスプレイは試作飛行の段階から、墜落事故を起こしており、1992年墜落7名死亡、2004年4月墜落19名死亡、同年12月墜落4名死亡と、30名もの命が失われ、米国では”未亡人製造機”と呼ばれています。最近の2016~19年でも<別表>のとおり日本周辺で大きな事故が11件も起きています。鎌ヶ谷・白井・柏・船橋の4市周辺は123万人に及ぶ人口密集地です。万一墜落事故等が発生したら大惨事となります。市民のこうした不安な気持ちを4市合同の要望の際に下総基地側に強く伝えていただきたい」。

<別表> 日本における最近のオスプレイ事故

年月日	事故内容
2016.12.13	沖縄県名護市沖にMV-22が不時着水・大破
2017.06.06	伊江島補助飛行場にMV-22が緊急着陸
06.10	奄美空港にMV-22が緊急着陸
08.29	大分空港にMV-22が緊急着陸
09.29	新石垣空港に2機のMV-22が緊急着陸
2018.04.25	奄美空港に2機のMV-22が緊急着陸
06.04	奄美空港に2機のCV-22が緊急着陸
08.14	嘉手納基地にMV-22が緊急着陸
	奄美空港にMV-22が緊急着陸
10.25	奄美空港にMV-22が緊急着陸
2019.03.27	沖永良部空港にMV-22が緊急着陸
04.01	大阪(伊丹)国際空港にMV-22が緊急着陸

### (7) 伝えていきます

市当局答弁…「令和2年度の4市合同の要望にあたっては、4市の担当課による事前の打ち合わせの際にも協議し、下総航空基地側に伝えていきます」

## 市民の命と安全な暮らしを守ろう！ =先輩の志を継いで=

30年程前、「下総基地へ米軍艦載機が離発着訓練(NLP)に来る！」という情報が入りました。その時、市当局・市議会・連合自治会・市民連絡協議会の四者が一致団結し、市民5万人のNLP反対署名を集めて防衛庁に行き、交渉を行いました。また1万2千人もの市民によるNLP反対集会等も開かれました。以来、今日に至るまで下総基地でのNLP訓練は阻止されています。左の写真は今も市役所に立っている大看板塔です。こうした”先輩市民の志”を私達も引き継ぎ、危険なオスプレイ飛来に反対し、市民の安全な暮らしを守りたいと思います。(津久井記) (※ NLP=米軍艦載機による夜間離発着訓練)







# 新型コロナ対策 最新ニュース

## ◎ 新たな「新型コロナ対策給付金」が決定！

6月26日の市議会で新たに、「新型コロナ対策給付金」が決定されました。

### (1) 国庫からの給付金

☆ ひとり親世帯へ

④ 児童1人あたり5万円(2人目からは各3万円)。

⑤ 収入が減少した児童手当受給世帯などに一世帯あたり5万円。

### (2) 鎌ケ谷市独自の新たな給付金

☆ ひとり親世帯の児童へ

③ 児童1人4万円(2人目2万円、3人目1万円)

★ 現行の児童手当受給者全員へ

④ 児童1人あたり5千円

※ ④,⑤については本人からの受給申請が必要です。

※ ③,④については申請不要で入金されます。

### (3) 問い合わせ先

鎌ケ谷市役所 子育て支援課(直通 ☎ 445-1325)  
または 津久井市議(☎ 445-5262)

## ◎ 10万円給付金…95%の市民に届く！

新型コロナ対策として、国からの特別定額給付金1人10万円は6月20日現在で95%の鎌ケ谷市民に届きました。周辺市では「最も速い」と市民から好評です。

## ◎ PCR検査車で116件の検査が行われる

鎌ケ谷市医師会が運営するワンボックス型移動検査車により5月18日以来、6月27現在で延べ116件のPCR検査が行われました。



● 写真は鎌ケ谷市医師会が全国に先駆けて導入したPCR検査車両

## 投稿

## ウイルスの歴史 学ぶべき2つの教訓

(鎌ケ谷市議 津久井 清)

7月1日現在、新型コロナウイルスの感染者数は世界で1,014万人、死者数は50万人を超えています。まだまだ感染拡大が続く中、書籍などで勉強した《ウイルスの歴史》から、教訓点を探ってみたいと思いました。

時は1918年、米国の軍隊内で発生したインフルエンザ系ウイルスが急速に感染拡大し、死者は世界中で4千万人～1億人、日本でも約43万人もの命が奪われたと書かれています。なぜ世界全体の死者数に2倍以上もの大きな幅があるのか？なぜ、これほど膨大な数の人命が失われたのか？疑問を持ちました。

『答え』…当時は第一次世界大戦中であつたため、自国の感染状況や死者数は敵に知られたくない(秘)事項。ゆえに戦死か疫病死かの数を明らかにしなかったとのこと。戦争不参加のスペインは感染状況を発表、そこで「スペイン風邪」という名称が付けられてしまったようです。膨大な死者数は、当時の医療水準の低さに加え、戦争・軍隊という超過密な集団環境に起因した部分も大きかったと言われています。人類が団結してウイルスと闘う以前に「人間同士の殺し合い」が感染死者数を拡大させたのです。

今回の新型コロナウイルスでも米国と中国が指導者同士の中傷合戦をしていますが、「人類は敵対ではなく、協力し合わなければウイルスに負けてしまう」これが第1の教訓点だと思います。また、スペイン風邪の膨大な死者の多くは「第2波による被害」でした。第2の教訓点は、「来る可能性の高い第2波に対して、私達が今後どう備えていくか」だと思います。



## 弁護士無料法律相談

《日時》9月26(土)・10月31(土)・11月28日(土)

※ いずれの日も開始は13:00から

《場所》トライ事務所(事前予約制)

問い合わせ先 ☎444-5262 津久井



## 「共育だより」配布者募集

本紙は市民ボランティアの皆様のお力添えを頂き、鎌ケ谷市内に年4回ポスティング配布しております。少部数でも結構ですので、配布にご協力して頂ける方がいらっしゃいましたら ☎ 444-5262 津久井 へご連絡ください。